

大賞

奈良商工会議所（奈良県） 奈良SDG s 学び旅

地域（商工会議所）概要

- ◆ 奈良県は多数の歴史的・文化的資源を有し、年間約3,000万人が訪れる観光地でありながら、大阪府や京都府といった都市とのアクセスが良好であることから、**観光客の宿泊につながらず、観光消費額が少ない**ことが長年課題であった。
- ◆ 奈良商工会議所では、「奈良まほろばソムリエ検定」の実施等、**産官学が連携**した観光振興に取り組んできた。



▲ 貴重な歴史文化資源を有する奈良県は、修学旅行を多く受け入れている

取組の概要・ポイント

1. SDG s の視点を取り入れた着地型観光

- ◆ 1,300年以上にわたり紡がれてきた奈良県の歴史を背景に、地域資源をSDGsという視点から再評価したラーニングツーリズム「奈良SDG s 学び旅」を開発した。
- ◆ 持続可能な社会の担い手を育てるため、奈良教育大学と連携し、奈良県の世界遺産を新たな視点で見学することで、**奈良の歴史文化とSDG s を体感できる観光商品**を提供している。

2. ターゲットを明確にした商品設計

- ◆ 地域課題であった日帰り観光からの脱却に向け、奈良県を主目的地とする観光商品を検討し、「奈良県の歴史文化」と「学習」の相性の良さにフォーカスし、**修学旅行をメインターゲット**に設定。ただ見るだけではなく、**旅マエ・旅ナカ・旅アトを通して、自地域の魅力や課題を再発見できるパッケージ**として「奈良SDG s 学び旅」を設計し、全国の学校に向けてアプローチしている。
- ◆ 2021年の販売開始から4年間で、全国各地から約100校12,000人が参加。万博イヤーである2025年は年間5,000人を目標とし、着実に実績を積み重ねている。

3. 派生事業を通して、地域全体の観光へ

- ◆ 本事業から派生し、学生だけでなく、観光客・インバウンド向けの観光商品や事業者向けのSDG s 体感プログラムも開発。本事業から奈良県全体の観光振興に広がりつつある。



▲ 奈良の歴史文化をSDG s の観点から学びなおす



▲ 事業者向けのプログラムも提供